糖尿病	七、一六〇	七、四四五	二・一	二・二
腦卒中及麻痺	三五、四四二	三四、三七三	一〇・二	一〇・〇
心臟病	六八、一〇五	六五、〇八二	一九・六	一九・〇
氣管支炎	五、六一二	五、二五九	一・六	一・五
肺炎	三一、一二四	三一、五七〇	九・〇	九・二
盲腸炎	一、七五一	二、二二二	〇・五	〇・六
腎臟炎	五、七一四	六、〇一五	一・六	一・八
老衰	二、一二五	二、〇五〇	三・四(3)	三・三(3)
自殺	三三、二三三	二九、二五二	九・六	八・六
他殺	八、三八〇	一〇、三八九	二・四	三・〇
不慮の傷害	三〇三	三四一	〇・〇九	〇・一
一歳未滿兒の特殊死因				
早産	一四、二六五	一二、八四七	四・一	三・八
先天性畸形弱質及び分娩による產兒の障害	八、一〇七	八、〇六五	一三・一(4)	一三・四(4)
腸カタル	一〇、五〇八	一〇、一五四	一七・〇(4)	一六・九(4)
微毒	四、一二一	三、四六二	六・七(4)	五・七(4)
	一一五	一二一	〇・二(4)	〇・二(4)

(1)舊領域內及びオストマルクの諸都市、但しザール地方、プリマーゼンス及びツヴァイブリュッケンの分を除く。(2)定住人口中の死亡數なり。また戰死將兵を除く。(3)出生及び死產千に付。(4)出生千に付。

右都市死亡統計に於ける對前年死亡增の總數は約一萬四千、その內八千二百は第一四半年季の死亡者で、死亡增の原因が戰爭と直接關係のない寒さの爲であつたことを物語つてゐる。結核の死亡增も亦この寒さの爲であるといへよう。盲腸炎、肺炎、腎臟炎及び糖尿病の死亡減は戰時中にも拘らず醫療保護が等閑に附されなかつたことを示すといへよう。

最後に昨四〇年の乳兒死亡率を見ると、寒さの影響は茲でも看取せられる。昨四〇年の獨逸全國に於ける乳兒死亡の對前年增は約七千三百であるが、その內凡そ三千五百は出產の增加により殘りの約三千八百は主として年首四箇月間に於ける乳兒死亡率の實際の增加と見てよいことになる。之を表示すれば次の如くである。

	舊領域內		全國	
	一九三七年	一九三八年	一九三九年	一九四〇年
第一四半年季	七・九	六・七	六・八	**七・四**
第二四半年季	六・五	六・七	六・一	**六・五**
第三四半年季	五・五	五・八	五・五	**五・六**
第四四半年季	五・七	五・八	五・九	**五・九**
年平均	六・四	六・〇	六・〇	**六・三**

	全國	
	一九三九年	一九四〇年
第一四半年季	七・一	**七・五**
第二四半年季	六・三	**六・七**
第三四半年季	五・六	**五・六**
第四四半年季	五・八	**六・〇**
年平均	六・二	**六・五**

(本多龍雄)

ナチス治下獨逸出生增の分析

(埋め草)

	公出生總數	基本數＊	差引增加	內、婚姻增加に依るもの	姙孕率向上によるもの
一九三三年	八九二、八〇〇	八七三、八〇〇	一九、〇〇〇	一九、〇〇〇	
一九三四年	一、二五、五〇〇	八六七、九〇〇	二五七、六〇〇	七四、七〇〇	一八三、九〇〇
一九三五年	一、一九五、三〇〇	八六二、四〇〇	三三三、九〇〇	二一〇、五〇〇	二二三、四〇〇
一九三六年	一、三一〇、〇〇〇	八五七、七〇〇	三五二、三〇〇	二二七、七〇〇	二二四、六〇〇
一九三七年	一、三〇七、五〇〇	八五五、三〇〇	三五二、二〇〇	二三一、三〇〇	二二〇、九〇〇
一九三八年	一、二七七、二〇〇	八四九、九〇〇	四二七、三〇〇	二四二、四〇〇	二八四、九〇〇

＊基本數とは婚姻數が一九三二年と同じく、姙孕率が一九三三年と同じと假定せる場合に豫期せらるべき公出生總數を謂ふ。

(Wirtschaft u. Statistik Nr. 7. 1939 より)